

Q5： 校内の生涯学習係として、どのようなことに取り組めばよいですか。また、そのとき気を付けることはどんなことですか。

はじめに



各学校では全職員が共通理解を図りながら、開かれた学校や地域に根ざした特色ある学校づくりの推進に努めていますが、その中心的存在として活動する生涯学習係の役割はとても重要となります。
ここでは、校内における生涯学習の理解や実践をより充実したものにするために、生涯学習係として取り組みたいポイントを提示しました。年度始めや担当者が代わった時期などを、生涯学習に関する学校の体制を見直すよい機会と捉えて、学校や地域の実態に応じて、必要なところから着実に実践していくことが大切です。

業務①

生涯学習に関する各種ファイルの整理

学校全体で生涯学習を推進していくためには、生涯学習全体計画や年間指導計画などに基づいた校内推進体制を見直し、整備していくことが望まれます。さらに、地域人材や資源を活用した活動の記録や、学校内外における研修記録などをまとめた各種ファイルが整理されているかどうかを確認することも、生涯学習係の大切な役割となります。

チェックポイント

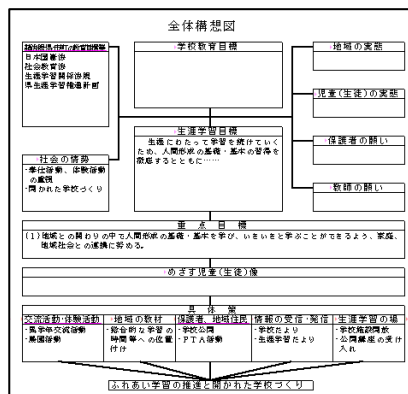


※達成できた業務は□に✓(チェック)し、係の仕事の進捗状況を確認するようにしましょう。

- 学校や地域の実情、児童生徒の実態等を踏まえた全体計画が作成されていますか。
- 全体の関連性が分かる構想図はありますか。
- ふれあい学習(交流・体験)活動や学校支援ボランティア活動に関する年間計画が作成されていますか。

児童生徒や地域の実態、目指す児童生徒像などを、構想図に明確に示しておく、生涯学習目標との関連性がより一層分かりやすくなります。

学校支援ボランティアに関する地域の人材や教育資源を一覧にしたり、活動の記録を時系列に並べて整理したりしておくなど、計画的・継続的に活動ができるように累積の仕方を工夫しましょう。



チェックポイント

業務②

生涯学習に関する情報の収集や発信

生涯学習係は、日頃から地域の行事や生涯学習に関する幅広い情報の収集に努め、それを精選しながら教職員や児童生徒、家庭や地域に積極的に発信していくことが大切です。また、生涯学習に関する掲示コーナーを設けたり、生涯学習だよりを作成したりするなど、発信方法を工夫することによって、校内における生涯学習の意識付けを図るように努めましょう。

チェックポイント

- 校内に生涯学習に関する掲示コーナーが設置されていますか。
- 係を中心に情報収集に努め、定期的に更新できる体制が整えられていますか。



掲示内容(例)

- ・生涯学習に関する情報誌(県、市町教委等)
- ・社会教育関連施設主催のイベントの紹介
- ・学校支援ボランティアの紹介や活動の様子
- ・地域の教育資源や人材についての情報
- ・家読(うちどく)に関する情報 など

学校を訪れる保護者や地域の住民など、より多くの人の目に触れるように設置場所を工夫するとさらによいでしょう。

チェックポイント



- 多様な情報を整理し、実態に応じて適切な情報を全職員に提供していますか。
- 各種たよりやホームページなどを活用して、保護者や地域住民に向けた情報発信が定期的に行われていますか。

職員間で生涯学習に関する情報を共有し、日常の話題に取り上げるることによって、学校全体の生涯学習に対する意識が高められていきます。生涯学習係は、あらゆる機会をとらえて積極的に情報提供を続けていくことが大切です。

業務③

生涯学習に関する各種研修の実施

生涯学習に関する校内研修を企画し実践することは、生涯学習の視点に立った教育活動を充実させるための大切な機会となります。生涯学習係は、学校や地域の実態に応じて適切な研修内容を企画し、積極的に提案するとともに、外部講師の活用も検討するとよいでしょう。

チェックポイント

- 生涯学習に関する校内研修を実施したり、校外で開催される研修の機会を有効に活用したりしていますか。

校外における研修の情報を収集して、全職員に周知するとともに、生涯学習推進のためのよい研修機会をとらえて、有効に活用するよう努めましょう。

研修内容（例）

- ・ふれあい学習の進め方
- ・学校支援ボランティアの活用
- ・ワークショップ体験
(親学習プログラム、人権学習など)
- ・地域ボランティアとの交流 など

業務④

学校支援ボランティアとの連絡調整

地域に根ざした特色ある学校づくりを推進するためには、学校支援ボランティアを中心とした地域人材を意図的・計画的に教育活動に取り入れていくことが大切です。生涯学習係は、学校とボランティアが連携協力しながら活動しやすい(協働)関係をつくるために、連絡や調整を図ることを心掛けていきましょう。(本書P.11「学校支援ボランティアとの協働例」参照)

チェックポイント

- 日時や活動内容、留意点など、必要な情報が事前に連絡されていますか。
- ボランティアとの事前打合せで、めあてを共有したり、活動の役割分担を明確にしたりしていますか。

ボランティアを笑顔や明るい挨拶で迎えるなど、学校全体で温かく受け入れる雰囲気づくりに努めましょう。

業務⑤

学校と地域の連携事業等の企画運営や協力

学校は、子どもたちの教育の場であるばかりでなく、保護者や地域の人々が「集い・学び・活動する」貴重な場でもあります。学校がその施設や機能を地域社会に開放し、積極的に地域社会に貢献していくことによって、地域の人々と学校との連帯意識を高めるとともに、地域に根ざした学校としてさらに発展していくことが期待できます。

チェックポイント

- 保護者や地域の人々に対して、学校の教育機能や施設を開放したり、学習機会を提供したりしていますか。
- 学校と地域を結ぶ連携事業(地域のお祭りなど)やPTA研修会、家庭教育学級等の企画・運営に関わったり、協力したりする機会がありますか。

社会教育主事有資格者の活用



〈参考資料〉
「社会教育主事有資格教員のための社会教育活動の手引き 2011」
(宇大・県教委)

本県では、地域に開かれた学校づくりや、より豊かな教育活動を実践するために、学校・家庭・地域の連携協力の推進役として、社会教育主事有資格教員を計画的に養成しています。この有資格教員がもっている様々な知識や技術を、学校や地域の実態に応じて効果的に活用できる環境づくりに努めていきましょう。